

テーマ

食欲と 音。

コンセプト

生き物には必要な栄養摂取。食べることは生きること。
生きるために、今日も私たちは食べる。

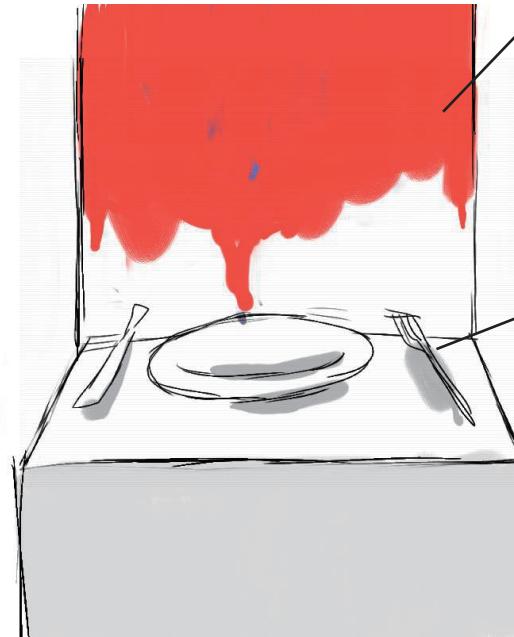
人間は人格を持ち、趣向を持ち、技術を持ち、他の生物と一線を引く特別な存在であると勘違いしている。しかし人間はただの生物である。生物としての人間、つまりその生存本能が強くのは食欲が強く現れるとき。食欲は私たちの動物的本能を表し、私たちが単なる動物でしかないことを表している。

①食欲というものを視覚、聴覚で強く感じるということを目指す。今すぐにでも食べたいのに食べられないときこそ食欲を感じる。あたかもそこに食べ物があるかのように思わせる。
(おいしそうな食べ物の視覚的刺激を与える反面、食欲が失せるような音の刺激を与える。あえての無音、もしくは音のみ、なども検討)

②美味しい音の反面、気持ち悪い映像を投影。

①、②どちらかを行う。

全体図



フォークで皿
の中身に触れ
ると各映像が
再生される

映像



料理過程や食べている様子の映像

使用 sw : flash

使用 hw : プロジェクタ、センサー